



JAふじ伊豆の温州ミカン

JA管内では、主要産地のなんすん地区、伊豆太陽地区、あいら伊豆地区、富士地区で「寿太郎」や「由良」、「青島」などさまざまな品種のミカンを生産・販売しています。

品質向上と収量の安定確保に向け、當農アドバイザーによる指導巡回や土壤診断による施肥指導をはじめ、高温対策に向けた実証試験やドローンによる薬剤散布試験などを実施しています。さらに産地維持のため、新規就農者の受入体制を強化し、JA全体の産地活性化に取り組んでいます。

## ■ 高温障害に対応

近年は夏季の高温が常態化し、ミカンにおいても栽培が困難になっています。

ミカンの高温障害の一つに「日焼け果」があります。日焼け果は果皮が変色して硬くなり、ひどいものだと果汁が無くなることもあります。対策として、サンテ（果実袋）の被覆や炭酸カルシウムの散布などがありますが、限られた方法のため、完全な対策にはなっていないのが現状です。

そこで本年度、静岡県果樹研究センターと各地区的當農アドバイザーが、管内全域で日焼け果の被害率調査を実施。これまで被害を遠観で判断していたため、実際の被害がどのくらいかが分からず、本調査により被害率を明確にすることで、被害額を算出し、対策資材の過剰投資の抑制につなげます。

今後、数年間調査を継続し、簡易的で効率的な日焼け果対策の確立を目指します。



ドローンによる薬剤散布試験



各地で栽培講習会を実施

# 農業トレンド

「営農」に関わるトレンドを  
営農アドバイザーや担当者がご紹介

## 温州ミカンへの取り組み

J A管内では柑橘の生産が盛んです。JAは品目別振興計画で温州ミカンを主品目（広域で生産されている将来に向けて振興を図る特産品（販売高10億円以上））に位置づけ、生産振興と販売強化に取り組んでいます。今回は温州ミカンの取り組みを紹介します。

品質向上と  
収量確保を目指します



柑橘トップ営農指導員

営農販売部 営農課

たけ

たかひろ

武

剛広